

2008-10-28

# 開発・調達・生産 について



1. マイニング機の開発、増産
2. 調達保全
3. 原価低減

## 日立建機株式会社

執行役常務

三原新一

(無断転載を禁じます)

# 1. マイニング機の開発・増産

## 1.1 電動式マイニングショベル

電動式マイニングショベルの出荷と受注・引合状況

( )内は引合い状況

	2007下	2008上	2008下	2009	2010	2011	2012
EX1900E					(1台)		
EX2500E	中国:1台	ブルガリア:1台 中国:1台		インドネシア:1台 タイ:3台	(8台)	(6台)	(1台)
EX3600E		南アフリカ:1台	中国:2台 ウクライナ:5台	(6台)	(9台)	(2台)	
EX5500E	ザンビア:4台	カザフスタン:1台		(6台)	(5台)	(5台)	(3台)
EX8000E				(2台)	(4台)	(6台)	(7台)
合計	6台	3台	7台	4台+(14台)	(27台)	(19台)	(11台)

EX2500Eは-5型で出荷 現在、EX5500E-6、EX3600E-6を開発を完了  
EX8000E-6、EX2500E-6、EX1900E-6を開発し、シリーズ化を図る



EX2500E(中国)



EX5500E(カザフスタン)



EX5500E(ザンビア)

# 1.2 ACダンプトラック EH3500AC II

HITACHI

## EH3500AC II



### 日立AC電気駆動システム

- ・ 良好な運転性能と高効率のサイクルタイム
- ・ 駆動性能・リタード(ブレーキ)性能向上
- ・ メンテナンス時間・コスト低減

仕様	EH3500ACII
車両総質量	325 Ton
運転質量(空車質量)	140 Ton
定格積載質量	185 Ton
公称積載質量	168 Ton
ボディ容量(山積/平積)	111 / 74 m <sup>3</sup>
エンジン定格出力	1,491 KW
最高走行速度	56 km/h



10002号機(オーストラリア)  
稼働時間 3100 hr



10003号機(南アフリカ)  
稼働時間 1193 hr

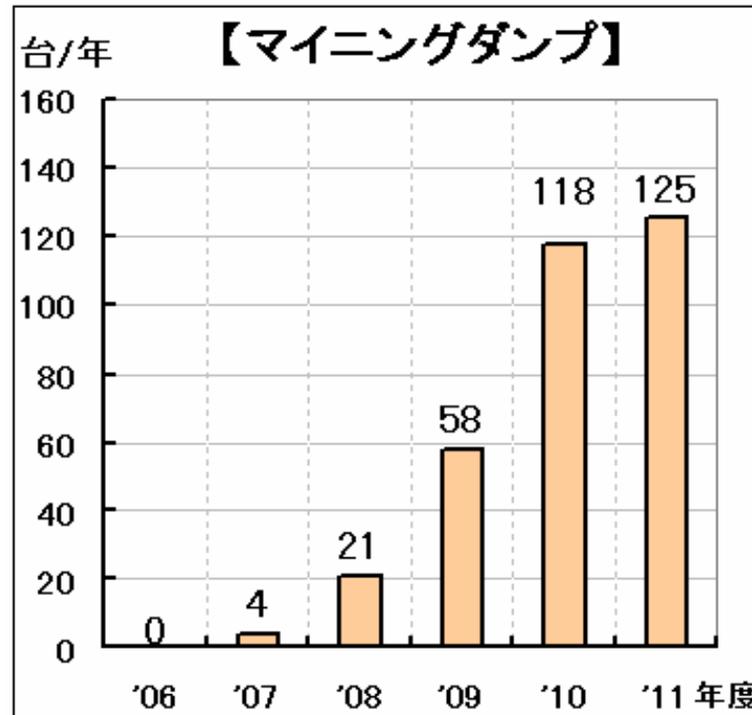
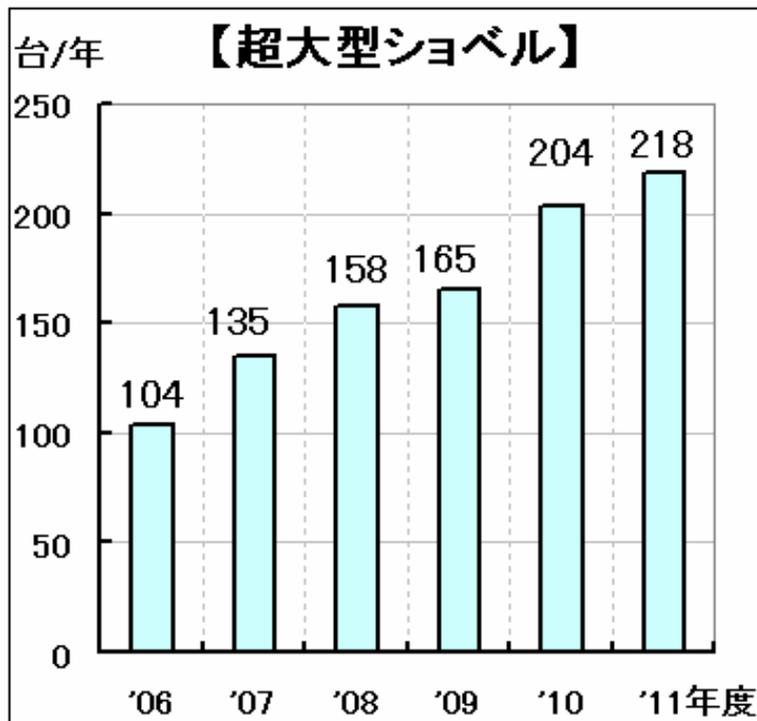


10008号機(フィンランド)  
稼働時間 600 hr

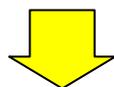


10011号機(アメリカ)  
Mine expo 出展

# 1.3 超大型ショベル・マイニングダンプ増産対応



## 増産における生産対応



### 生産能力増強

超大型ショベル 165台/年 → 218台/年  
マイニングダンプ 77台/年 → 125台/年

設備投資	投資金額
08上 工場建設初期投資	27,000M¥
08下 設備増設(一次)	2,867M¥
09上 設備増設(二次)	1,615M¥

## 国内外での調達力増強

■ 協力会社の投資計画（'05～'09 5年間）520億円

### 国内

KYB(株)



シリンダ生産能力  
26万本('07)⇒30万本('08)

自動車部品工業(株)

海老名工場設備投資  
30億円予定('08)



エンジン

当社出資('07/6)

多田機工(子会社)

新工場建設('07/上稼動)



センタージョイント

霞ヶ浦工場より移管

### 海外

素材系材料(鋳鋼)の調達保全（中国・韓国メーカーの活用強化）

#### 1. 生産性の向上

組立て滞留、能力不足、仕損等の改善による生産の清流化

生産性向上6%/期

#### 2. 経費低減

工具、備品費/レイアウト変更費/人件費 等

間接費低減 5%以上、

比例加工費低減 3.2%/期

塗装費低減（塗料購入費低減、作業効率向上）

塗装費低減5%

#### 3. 内作取り込み

特殊機、スポット外注部品の内作取り込み

#### 4. 最適供給

最適物流 調達からお客様までのリードタイムの短縮

港での滞留期間の最短化

常陸那珂臨港工場物流効果

5億円/年

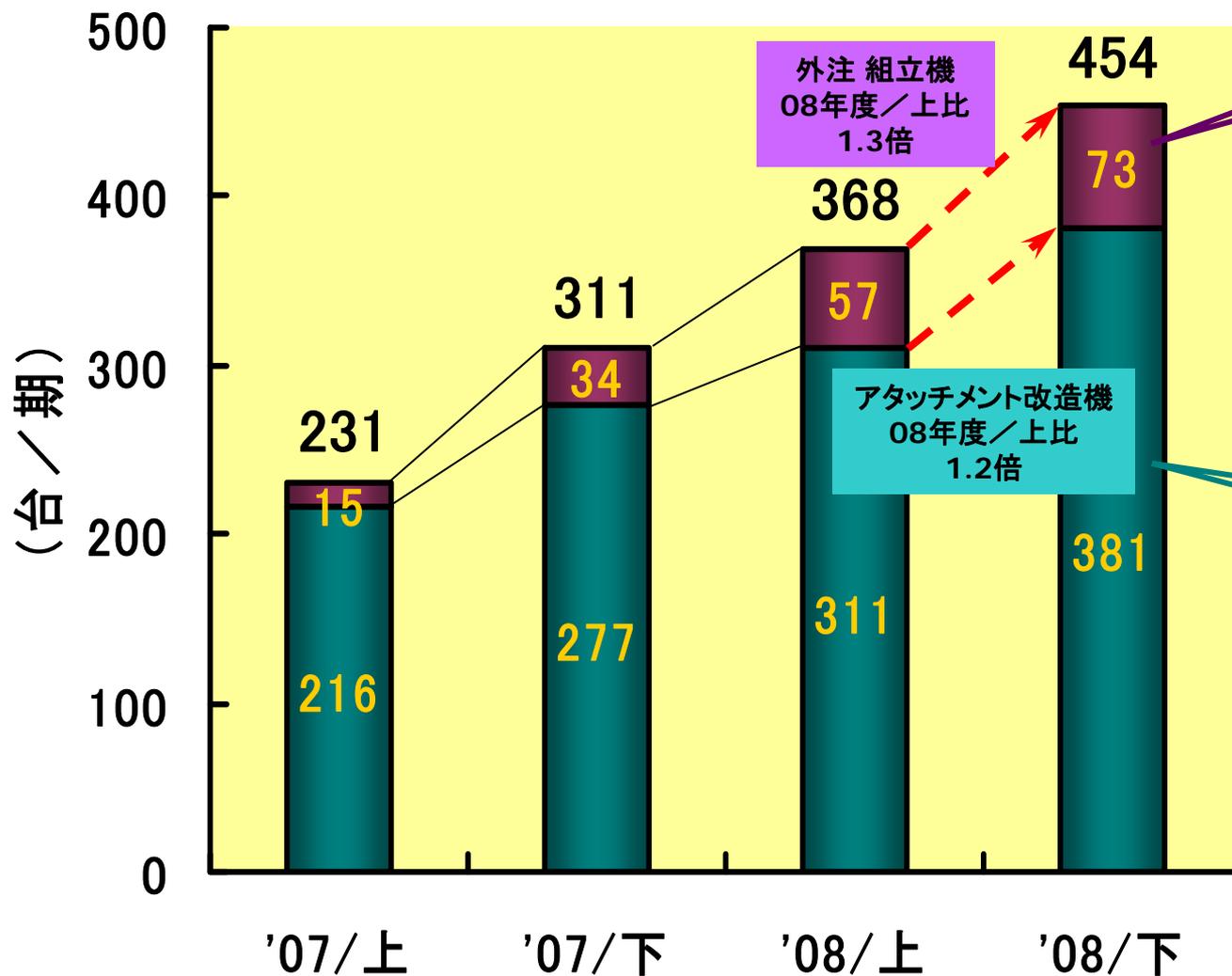
部品航空輸送運賃の縮減

2007年度 6億円/年 ⇒ 0

グローバルな最適在庫管理と仕掛縮減

# 08年度/下期 応用機生産能力増強

HITACHI



## ライン外対応機

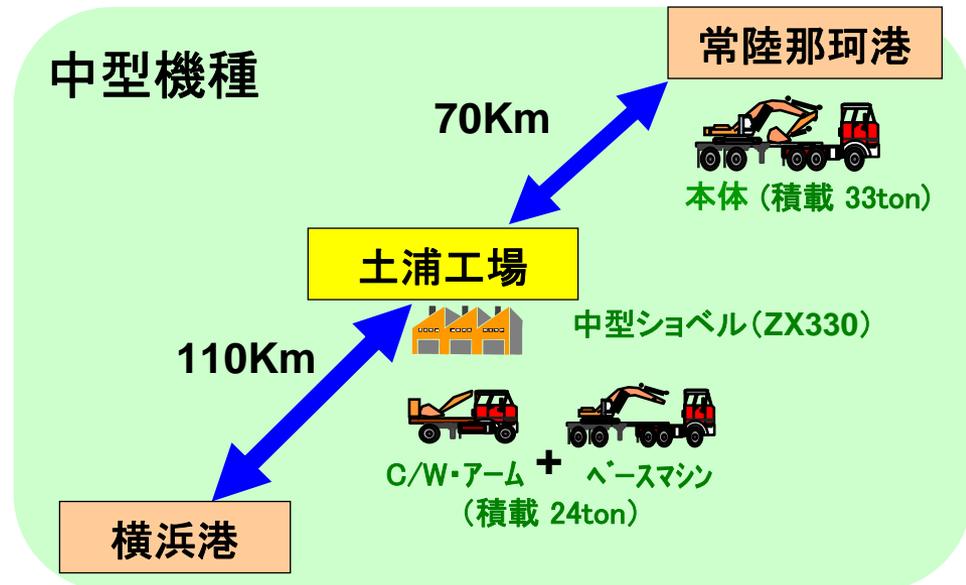
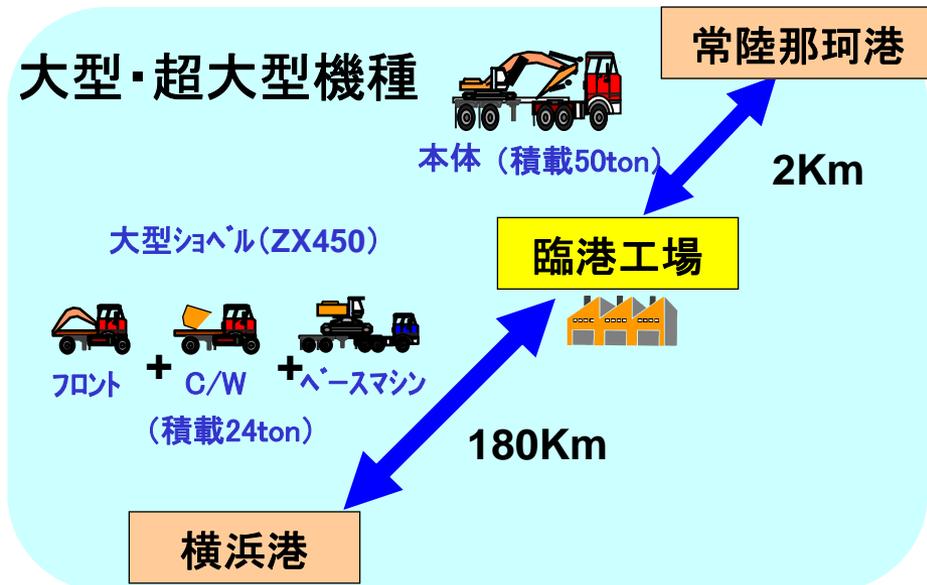
地雷除去機  
泥上作業車  
高所作業車  
ホイールマテハン機

## ライン対応機

ストレートブーム  
ユニバーサル解体機  
自動車解体機  
マグネット  
ハイリフト・マルチ  
テレスコ  
スライドアーム  
スクラップ(キャブ改造)  
スーパーロングフロント  
2ピースブーム

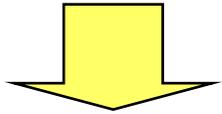
# 臨港工場及び常陸那珂港利用による物流費改善

HITACHI



輸送範囲	輸送距離	輸送制限	常陸那珂港利用率 2007年度→2010年
臨港工場 →横浜港	180Km	24t	70%→20%
臨港工場 →常陸那珂	2Km	50t	30%→80%

輸送範囲	輸送距離	輸送制限	常陸那珂港利用率 2007年度→2010年
土浦工場 →横浜港	110Km	24t	60%→30%
土浦工場 →常陸那珂	70Km	33t	40%→70%



年間 約5億円の物流費低減効果

(2010年時)

END

